

## 立川市コトリンク情報発信センター 運営事業者選定プロポーザル審査の結果について

令和4年度に立川駅南口に新たに開設する立川駅南口東京都・立川市合同施設（仮称）の市専有部（立川市魅力発信拠点施設 CotoLink）内に設置する立川市コトリンク情報発信センター（以下、「情報発信センター」）の運営事業者について、公募型プロポーザル方式により、次の通り優先交渉権者の選定を行ったため報告する。

### 1. 情報発信センター 拠点施設概要

| 項 目                  | 内 容  |
|----------------------|--|
| 事業計画地                | 立川市柴崎町三丁目9番2号  |
| 用途地域                 | 商業地域、第二種中高層住居専用地域  |
| 敷地面積                 | 2,089.31 m <sup>2</sup>  |
| 建物概要                 | ①名 称：立川駅南口東京都・立川市合同施設（仮称）<br>②構 造：鉄筋鉄骨コンクリート造、一部鉄骨造<br>③規 模：地下1階、地上7階建て<br>④延床面積：9,034.46 m <sup>2</sup><br><small>※今後行政指導や施工上の理由などにより変更する場合がある。</small>                             |
| 整備スケジュール             | ①建設工事：平成31年3月～令和4年2月<br>②開 設：令和4年度   |
| 入居機関                 | ①【立川市】自転車等駐車場（地下1階～2階）<br>特産品販売&カフェ（1階）<br>情報発信センター（3階）<br>②【東京都】しごとセンター多摩・労働相談情報センター  |
| 拠点施設概要<br>(情報発信センター) | ①位 置：施設3階出入口・屋外テラスに面した箇所<br>②規 模：約100 m <sup>2</sup> 程度 ※現段階での想定で、今後変更の可能性あり<br>③主要用途：税務署、警察署、保健所、消防署その他これらに類するもの（合同庁舎）<br>④機 能：運営事業者の事務所や情報発信スペース等<br>⑤引渡条件：スケルトン渡し<br>⑥コンセプト：【別紙1】 |

### 2. 優先交渉権者として選定した者

事業運営に係る優先交渉権者として選定した応募事業者は次の通り。

|        |  |
|--------|--|
| 提案受付番号 | B 6 2  |
| 事業者名   | 株式会社けやき出版  |
| 代表者    | 代表取締役 小崎 奈央子   |
| 所在地    | 立川市柴崎町三丁目9番6号 高野ビル1F   |
| 会社事業内容 | 1. 一般書・地域の本の出版<br>2. 自費出版・社史・カタログの制作<br>3. WEBサイト制作（取材・原稿作成を含む）<br>4. 自治体・企業を中心としたPR発行物の制作<br>5. 総合広告、商品開発、イベント等プロモーション企画・運営<br>6. 自社メディア事業『BALL.』の企画・運営 |

### 3. 審査方法と審査委員会の構成

審査においては、「立川市プロポーザル方式による契約事務運用ガイドライン」に準じて事業者の選定等を行うこととし、立川市コトリンク情報発信センター運営事業者選定プロポーザル審査委員会（以下、「審査委員会」）が、公募実施要領の決定、企画提案書の審査及び優先交渉権者の選定を行った。

#### < 審査委員会の構成 >

| 区分  | 氏名     | 所属等                |
|-----|--------|--------------------|
| 委員長 | 栗原 寛   | 立川市 総合政策部長         |
| 委員  | 浅見 知明  | 立川市 総合政策部 企画政策課長   |
| 委員  | 鴛海 量良  | 鴛海公認会計士事務所         |
| 委員  | 澤田 克巳  | 立川市 総合政策部 広報課長     |
| 委員  | 前田 千歳  | 東京都 産業労働局 観光部 振興課長 |
| 委員  | 矢ノ口 美穂 | 立川市 産業文化スポーツ部長     |

※敬称略。委員長を除き五十音順。

### 4. 審査スケジュール

| 日程       | 実施内容       | 備考                                 |
|----------|------------|------------------------------------|
| 令和3年7月7日 | 第1回審査委員会   | 公募実施要領の決定                          |
| 7月13日    | 公募実施要領 公表  |                                    |
| 7月30日    | 参加申込期限     | 応募事業者4者                            |
| 9月16日    | 企画提案書 提出期限 |                                    |
| 10月6日    | 第2回審査委員会   | 第1次審査（書類審査）                        |
| 10月22日   | 第3回審査委員会   | 第2次審査（ヒアリング審査）<br><u>優先交渉権者の選定</u> |

## 5. 審査結果

### ① 第1次審査：書類審査

審査委員会による書類審査の結果、評価点平均第2順位までを第2次審査対象とした。

| 評価項目                   | 配点  | 応募事業者/評価点平均 |           |      |           |
|------------------------|-----|-------------|-----------|------|-----------|
|                        |     | A51         | B62       | C73  | D84       |
| 1. 自主事業（事業コンセプト・運営の内容） | 50  | 20.0        | 41.7      | 21.7 | 36.7      |
| 2. 委託事業（事業コンセプト・運営の内容） | 35  | 9.3         | 29.2      | 17.5 | 26.8      |
| 3. 拠点施設整備（整備計画の内容）     | 20  | 8.0         | 14.7      | 9.3  | 15.3      |
| 4. 事業者規模（事業実施体制の確実性）   | 25  | 5.0         | 20.0      | 6.7  | 21.7      |
| 合計                     | 130 | 42.3        | 105.5     | 55.2 | 100.5     |
| 順位                     |     | 4位          | <u>1位</u> | 3位   | <u>2位</u> |

※項目ごとの四捨五入により、「合計」と項目ごとの合計が一致しない場合がある。

#### < 補足説明 >

- 各評価項目について、以下の視点に基づく各委員による評価点の平均を算出し、順位を決定した。

#### 自主事業・委託事業の評価項目

「事業コンセプトや導入機能を理解した提案か」「事業実施による周辺地域の集客増加やにぎわい創出が期待できる計画か」「地域人材・資源の活用や、地域団体・事業所等との連携があるか」等

#### 拠点施設整備の評価項目

「提案された事業を実現できる設えか」「施設特性を生かした工夫があるか」等

#### 事業者規模の評価項目

「事業者の実績」「団体の体制」「財務状況」等

- 第1次審査と第2次審査の評価項目は概ね同一である。そのうえで、第2順位と第3順位以下の評価の差が、第2次審査において逆転が困難な程度に開きがあると判断し、第2順位までを第2次審査対象とすることとした。

## ②第2次審査：ヒアリング審査

審査委員会によるヒアリング審査の結果、「B62」を第1順位、「D84」を第2順位とし、「B62」を優先交渉権者に選定した。

| 評価項目              | 配点         | 応募事業者/評価点平均  |              |
|-------------------|------------|--------------|--------------|
|                   |            | B62          | D84          |
| <b>1. 自主事業</b>    | <b>100</b> | <b>86.8</b>  | <b>62.5</b>  |
| (1) 事業コンセプト・運営の内容 | 50         | 43.3         | 30.0         |
| (2) 地域への貢献と連携     | 30         | 27.0         | 20.0         |
| (3) 事業提案の実現可能性    | 15         | 13.0         | 9.5          |
| (4) 事業リスクに対する対応策  | 5          | 3.5          | 3.0          |
| <b>2. 委託事業</b>    | <b>75</b>  | <b>64.3</b>  | <b>48.5</b>  |
| (1) 事業コンセプト・運営の内容 | 35         | 30.3         | 21.0         |
| (2) 地域への貢献と連携     | 25         | 22.5         | 18.3         |
| (3) 事業提案の実現可能性    | 10         | 8.0          | 6.0          |
| (4) 事業リスクに対する対応策  | 5          | 3.5          | 3.2          |
| <b>3. 拠点施設整備</b>  | <b>40</b>  | <b>33.8</b>  | <b>24.5</b>  |
| (1) 整備計画の内容       | 25         | 20.8         | 15.0         |
| (2) 立地性等の活用       | 15         | 13.0         | 9.5          |
| <b>4. 事業者規模</b>   | <b>25</b>  | <b>18.3</b>  | <b>17.5</b>  |
| (1) 事業実施体制の確実性    | 25         | 18.3         | 17.5         |
| <b>合計</b>         | <b>240</b> | <b>203.3</b> | <b>153.0</b> |
| <b>順位</b>         |            | <b>1位</b>    | <b>2位</b>    |

※項目ごとの四捨五入により、「合計」と項目ごとの合計が一致しない場合がある。

### < 補足説明 >

- 企画提案書に対する書面による質疑応答、応募事業者によるプレゼンテーション、それに対する質疑応答を踏まえ、審査を行った。
- 各評価項目については、第1次審査での視点に以下のものを加えた視点に基づき、各委員による評価点の平均を算出し、順位を決定した。

#### 自主事業・委託事業の評価項目

「多様なターゲットに届く工夫や手段を用いているか」「施設1階特産品販売&カフェ機能との連携があるか」「市民、若者等による参加型の情報発信につながる提案か」「提案内容に具体性はあるか」「市が提示する期間に対して継続的に実施できる体制があるか」等

#### 拠点施設整備の評価項目

「民間事業者ならではの創意工夫があるか」「通行者の興味を引く施設整備となっているか」等

#### 事業者規模の評価項目

本評価項目は、第1次審査と同一。

## 6. 優先交渉権者選定事業者の企画提案について

優先交渉権者に選定した応募事業者「B62」の企画提案概要については、別紙2「[提案受付番号：B62] 企画提案書（一部抜粋）」の通り。

## 7. 審査委員会の講評について

優先交渉権者に選定した応募事業者「B62」の企画提案に対する審査委員会による講評の概要は、次の通り。

### (1) 各評価項目の講評

| 自主事業・委託事業               |   |
|-------------------------|---|
| 事業コンセプト・運営の内容           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「20～30代のまち活応援サイト」は、多摩地域における行政情報や地域情報を、情報誌やWEBサイトで一体的に発信することで、多摩地域の情報発信のプラットフォームとなるものであり、事業コンセプトの趣旨と一致している。</li> <li>○「コトを生み出す交流拠点」では、イベントの開催や、地域で活躍するクリエイターの相談事業により、新たな活動や仕事が生まれ、にぎわいの創出も期待できる。</li> <li>○発信する情報は、いずれの提案事業も題材の歴史や背景を丁寧に時間をかけて取材することとしており、ストーリー性が豊かで魅力ある発信が期待できる。</li> <li>○提案された2つの委託事業のみで、市が提示した事業規模の上限と同額の見積額となっているため、事業費の適正化に関して今後市と協議を行う必要がある。</li> </ul> |
| 地域への貢献と連携               | <ul style="list-style-type: none"> <li>○多摩地域に在住・在勤・在学する市民参加型の制作手法を採用することで、地域への愛着心の醸成や情報発信の担い手の育成が期待できる。</li> <li>○「多摩地域を伝えるショーケース」では、地場製品の魅力が高まり、販売促進につながるものである。また、産業が育成され、地域の活性化に寄与する。</li> <li>○全ての提案事業は、広く多摩地域の団体や事業者と連携して、情報を発信することを掲げており、多摩地域全体の魅力の向上につながることを期待できる。</li> <li>○多摩地域の自治体や住民・団体などとの豊富なネットワークを活かし、各地域の観光協会との協働による地場製品の発信や、地元クリエイターと連携した相談事業など、にぎわい創出や魅力発信につながる幅広い事業が実施できる。</li> </ul>                |
| 事業提案の実現可能性・事業リスクに対する対応策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○提案事業の一部については、すでにモデル事業として実現が図られている。</li> <li>○提案の実現に必要な市民参加型の情報発信に関する豊富な実績や、取材ノウハウ、地域ネットワーク等を有している。</li> </ul>   |

| 拠点施設整備             |  |
|--------------------|--|
| 整備計画の内容<br>立地性等の活用 | <p>○空間コンセプトを「INFOREST（情報の森）」と定め、多摩地域に広がる東京の森を連想させる木材を基調とした内装のほか、多摩地域のデザイナーや事業者と連携した整備など、「多摩地域」にこだわった空間としており、多摩地域の総合情報発信拠点の趣旨に合致した施設となる。</p> <p>○民間ならではのデザイン性のある設えで、ガラス張りでペDESTリアンデッキから直接見通せる立地性を活かして、通行者の興味関心を引く施設となることが期待できる。</p> |

| 事業者規模          |   |
|----------------|---|
| 事業実施体制の<br>確実性 | <p>○事業収支計画では、5年間の事業期間の安定的かつ継続的な運営に必要な一定の収益性を確保している。</p> <p>○運営体制は、会社代表が全体責任者となるほか、提案事業のモデル事業に携わっている者を導入機能の責任者に配置するなど、提案事業の実現に必要な体制を整えている。</p> <p>○他の自治体からのシティプロモーション業務受託を一定数見込んでいるため、各自治体のニーズの把握や提案力の強化等が必要である。</p> |

## （２）総評

- 市は、本拠点施設を戦略的なシティプロモーションを行う魅力発信拠点施設として位置付け、事業コンセプト「まちの情報プラットフォーム」の実現に向けて、立川市や多摩地域の情報を総合的に発信することとしている。
- 提案事業は、人々の交流の創出や情報発信の担い手の育成、多摩地域全域の情報発信、地域の活性化などが期待できるものであり、立川市や多摩地域におけるにぎわい創出や魅力の向上に資するものである。
- また、事業内容や実施手法は、事業コンセプトに合致し、市が策定したブランドメッセージ「立川くらいが、一番いい」のデザインコンセプト『自然・まち・人が調和する「立川」』の考え方とも整合しているものである。
- 今後、事業実施にあたっては、提案された事業を基礎として、立川市との協議により事業効果の更なる向上や事業費の適正化のほか、安定的かつ継続的な運営のための収益性の確保に努め、本拠点施設が立川市のシティプロモーションを行う魅力発信拠点として、事業コンセプト「まちの情報プラットフォーム」の実現が図られることを期待する。

## 8. 今後のスケジュール

| 日 程          | 内 容                       |
|--------------|---------------------------|
| 令和3年12月25日まで | 広報12/25号、市ホームページにより審査結果公表 |
| 令和4年2月       | 施設竣工                      |
| 令和4年3月まで     | 運営事業者正式決定（基本協定等の締結）       |
| 令和4年度内       | 情報発信センター開設                |

## ＜立川市コトリンク情報発信センター 事業コンセプト＞

情報発信センターについては、立川市や多摩地域に関する地域総合情報（各種産業、子育て、市民活動、観光、防犯・防災、行政情報等）や魅力の発信を行うとともに、立川駅南口の新たなにぎわいの創出する拠点として、官民の情報を統合的に発信する「まちの情報プラットフォーム」を事業コンセプトに、以下の3つの機能の展開を図る。

### 【情報発信センターの3つの機能】

#### ①地域情報の発信

市や多摩地域における地元商店街や地場産品等の地域に関する情報の発信を行うことで、地域の活性化を図る機能

#### ②にぎわいの創出

本施設や周辺施設、立川駅南口に来訪者を呼び込み、にぎわいを創出する機能

#### ③行政情報の発信強化

現在市が行っている広報手段を拡充し、行政情報発信の強化を図る、また多摩地域の自治体の情報発信を行う機能

また、上記の3機能実施のための横断的な視点として、施設1階特産品販売・飲食提供スペースとの連携や、市内外の多様な機関との連携、また市民や若者世代との参画等の推進を積極的に図りながら事業運営を行う。

## 立川駅南口の新たなにぎわいと多摩の魅力発信拠点

立川市コトリンク情報発信センター 事業コンセプト

### まちの情報プラットフォーム

#### ①地域情報の発信

市や多摩地域における地元商店街や地場産品等の地域に関する情報の発信を行うことで、地域の活性化を図る機能

##### 【事業展開の具体例】

- ・地元商店街や地域団体等のイベント情報の発信
- ・市民、飲食店等の事業者への情報発信支援 等

#### ②にぎわいの創出

本施設や周辺施設、立川駅南口に来訪者を呼び込み、にぎわいを創出する機能

##### 【事業展開の具体例】

- ・多摩地域関連の作品やPRグッズ等の展示
- ・市内のMICEや関連する取組に関する情報発信 等

#### ③行政情報の発信強化

現在市が行っている広報手段を拡充し、行政情報発信の強化を図る、また多摩地域の自治体の情報発信を行う機能

##### 【事業展開の具体例】

- ・子育て、福祉、防災、教育、まちづくり等の各種行政情報の発信
- ・シティ<sup>®</sup> OF-ジョン動画の作成、ブランドメッセージの普及・展開 等

・1階特産品販売等スペースとの連携 ・多様な機関との連携 ・市民・若者世代の参画

図表 情報発信センター 事業コンセプトイメージ

立川市コトリンク情報発信センター運営事業者選定プロポーザル審査  
 [提案受付番号：B62] 企画提案書 (一部抜粋)

事業全体の概要

**立川市コトリンク情報発信センター**

【事業コンセプト】

**官民の情報を統合的に発信する「まちの情報プラットフォーム」**

立川市や多摩地域に関する地域総合情報の発信を行う ⇒ 導入機能① および 導入機能③

立川駅南口の新たなにぎわいを創出する ⇒ 導入機能②

【3つの導入機能】

| ① 地域情報の発信   | ② にぎわいの創出                           | ③ 行政情報の発信強化   |
|---|-------------------------------------|---|
| 市や多摩地域における地元商店街や地場産品等の地域に関する情報の発信を行うことで、地域の活性化を図る機能 | 本施設や周辺施設、立川駅南口に来訪者を呼び込み、にぎわいを創出する機能 | 現在市が行っている広報手段を拡充し、行政情報発信の強化を図る、また多摩地域の自治体の情報発信を行う機能 |

| 委託事業【1】  | 自主事業【1】  | 委託事業【2】   |
|--|--|---|
| <p><b>多摩地域を伝えるショーケース<br/>BALL.DEPARTMENT</b></p> <p>ローカルブランド（地場産品・グッズ）のショーケース（展示スペース）を設置し、連動するECサイトで発信・販売を行う。</p> <p>■ 1階スペースとの連携<br/>1階で購買・取寄注文できる工夫</p> <p>■ 多様な機関等との連携<br/>商店街、事業者、観光協会など</p> | <p><b>コトを生み出す交流拠点<br/>BALL.HUB</b></p> <p>コト（出来事・仕事）を生み出す人たちが交流するワークスペースを設置し、企画イベントや相談サービスを提供する。</p> <p>■ 1階スペースとの連携<br/>1階スペースでイベントを開催</p> <p>■ 多様な機関等との連携<br/>南口周辺の公共施設、商業施設</p> | <p><b>20～30代の「まち活」応援サイト<br/>BALL.2030</b></p> <p>既存の広報手段では届きにくい20～30代をターゲットに、多摩地域の各自治体を包括した広報サイトを開設・運営する。</p> <p>■ 市民・若者世代の参画<br/>地域ライターの育成・発信参画</p> <p>■ 多様な機関等との連携<br/>各自治体、地域団体、大学など</p> |

自主事業【2】

| 情報誌   | オンラインメディア |
|---|-----------|
| <p><b>BALL. + BALL. WEB MAGAZINE</b></p>  |           |
| <p>多摩地域に関する情報誌およびオンラインメディアを活用して、地域総合情報の発信を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立川市や多摩地域で暮らすひと、働くひとの紹介</li> <li>・多摩で遊ぶ、暮らす、働く、学ぶスポットやイベントの案内</li> <li>・地元商店街や地域団体等のイベント情報の発信</li> <li>・市民、飲食店等の事業者への情報発信支援など</li> </ul> |           |

※「BALL.」という名称には「たま＝多摩地域」の意味が込められています。

## 自主事業に関する提案

### 自主事業【1】

コトを生み出す交流拠点

## BALL.HUB

#### ■事業内容

コトリンクの施設コンセプトに基づき、コト（出来事・仕事）を生み出す人たちが交流するワークスペースを設置し、そのメンバーが中心となって、様々な企画イベントや相談サービスを提供する。

交流ワークスペース



+

企画イベント・相談サービス



#### ■導入機能との対応

|             |                                  |
|-------------|----------------------------------|
| ① 地域情報の発信   | 地域・まちづくりに関するイベントを催し、そのレポートを発信する。 |
| ② にぎわいの創出   | 交流ワークスペース、イベント、相談等を目指して人が集い、賑わう。 |
| ③ 行政情報の発信強化 | クリエイターを集め、自治体のPR動画やブランディングを手掛ける。 |

### 自主事業【2】

情報誌

オンラインメディア

## BALL. + BALL.WEB MAGAZINE

#### ■事業内容

弊社が展開している多摩地域に関する情報誌『BALL.』およびオンラインメディア「BALL.WEB MAGAZINE」 (<https://baaal.tokyo/>) を活用して、幅広い層に向けて地域総合情報の発信を行う。

情報誌（紙媒体）



+

オンラインメディア（ウェブ媒体）



#### ■導入機能との対応

|             |                                  |
|-------------|----------------------------------|
| ① 地域情報の発信   | 地域の人・暮らし・働き・学び・遊び・産業・活動その他を発信する。 |
| ② にぎわいの創出   | ショーケース（展示スペース）に情報誌を配架し、にぎわいに資する。 |
| ③ 行政情報の発信強化 | 情報誌およびオンラインメディアに行政情報を掲載し、発信強化する。 |

## 委託事業に関する提案

### 委託事業【1】

#### 多摩地域を伝えるショーケース BALL.DEPARTMENT

##### ■事業内容

ガラス張りの施設を活かして、多摩地域のローカルブランド（地場産品・グッズ）のショーケース（展示スペース）を設置し、併せて、連動するECサイトでローカルブランドの発信・販売を行う。

##### ショーケース【展示】



← 連動 →



##### ■導入機能との対応

|             |                                   |
|-------------|-----------------------------------|
| ① 地域情報の発信   | 立川市・多摩地域の地場産品等の情報発信を行い、地域の活性化を図る。 |
| ② にぎわいの創出   | 施設の空間が華やかになり、見所が生まれることで、にぎわいに資する。 |
| ③ 行政情報の発信強化 | 各自治体のPRグッズや要覧等を展示し、シティプロモーションを図る。 |

### 委託事業【2】

#### 20～30代の「まち活」応援サイト

#### BALL.2030

##### ■事業内容

既存の広報手段（広報紙や自治体ホームページ）では届きにくい20～30代をターゲットに、多摩地域の各自治体を包括した広報サイトを開設・運営する。地域ライターを育成し、その担い手とする。

##### 多摩地域の自治体を包括した広報サイト



+



##### ■導入機能との対応

|             |                                    |
|-------------|------------------------------------|
| ① 地域情報の発信   | 20～30代の転入・定住を図り、住環境や不動産、求人情報を発信する。 |
| ② にぎわいの創出   | まち活（まちを楽しむ活動や地域参画）を応援し、にぎわいを創出する。  |
| ③ 行政情報の発信強化 | 堅い印象のある行政情報を20～30代向けにアレンジを施して発信する。 |

## 拠点施設整備に関する提案

空間コンセプトは「inforest (情報の森)」。多摩地域に広がる東京の森を連想させる、木材を基調とした内装とする。エントランスから最も近い壁には大きな本棚を設置し、アイキャッチとして思わず入りたくなる設えとする。デザイン・装飾は、国立市を拠点に全国的に活躍している家具デザイナーに依頼予定。施工は、東村山市の建設会社に依頼予定。(以下、画像はイメージ)

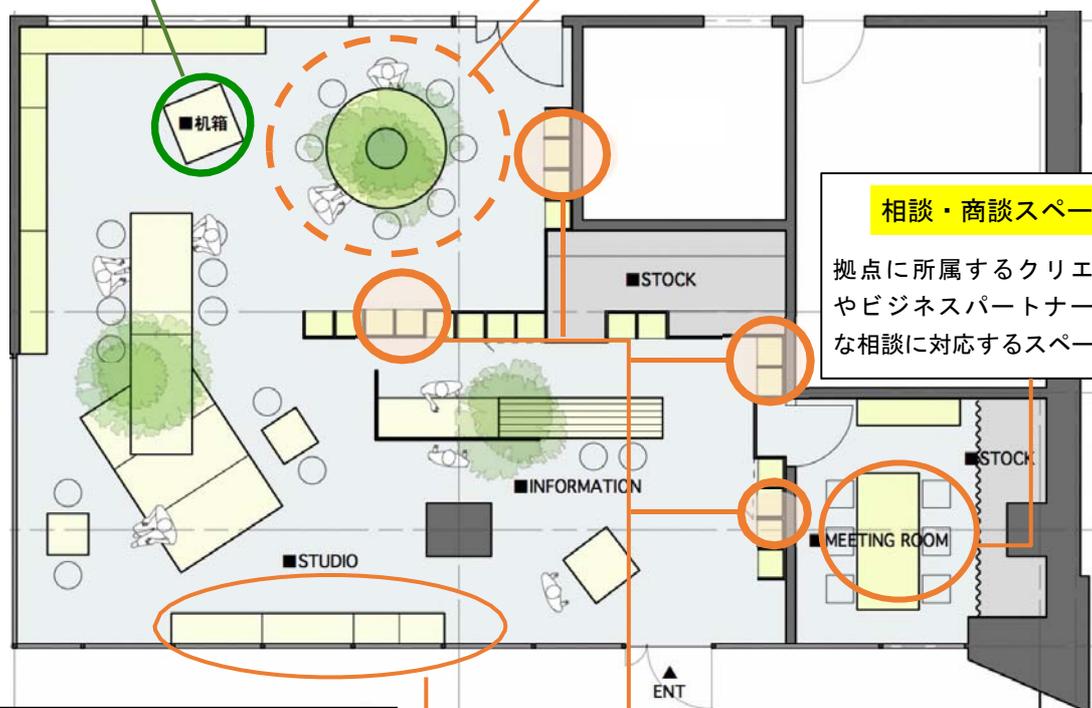


### 集中スペース

集中作業や電話・リモート  
会議を行える個室空間

### 交流ワークスペース

コトリンクの施設コンセプトに基づき、コト(出来事・仕事)を生み出す人たちが交流するワークスペースを設置。この交流ワークスペースに集うメンバーが中心となって様々な企画イベントや相談サービスを提供し、にぎわいを創出する



### 相談・商談スペース

拠点に所属するクリエイター  
やビジネスパートナーが様々な  
相談に対応するスペース

### ショーケース (展示スペース)

多摩地域のローカルブランド(地場  
産品・グッズ)を展示。ECサイトと連  
動。展示品は1階で購入できる

### 壁の本棚

壁際に本棚を設置し、多摩地域に関  
する書籍を配架。1階で購入可能。  
本棚の一部には「黒板・ホワイトボ  
ード」を組み込む

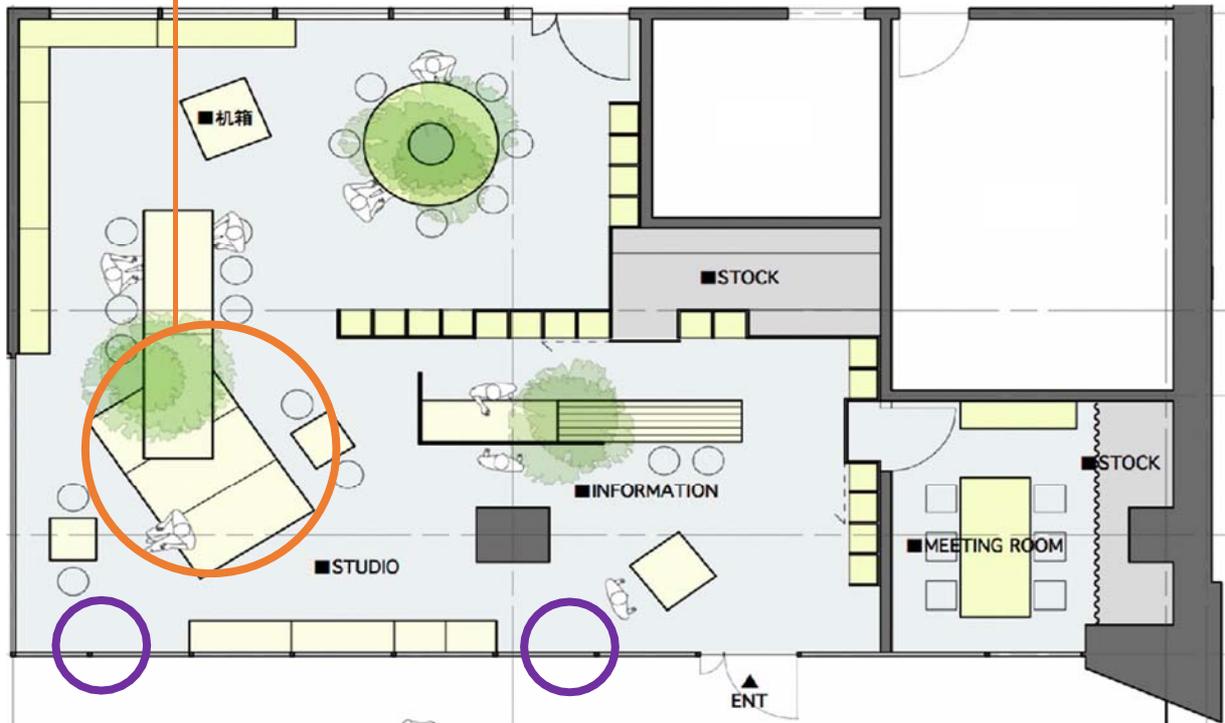
## 拠点施設整備に関する提案

### オープンスタジオ

館外の歩行者から最も目立つ開放感のある場所に、動画収録・配信用のスタジオを設置

### 編集部による多摩情報発信

本拠点には多摩地域の情報に詳しい運営スタッフが常駐し、チラシやパンフレットによる情報発信に留まらない、生の地域情報や行政情報を「聞く、調べる、見る」ことができる体制を備える。また、イベントの企画やコンテンツの制作に必要な人材募集を行い、立川市や多摩地域における新たな仕事の創出にも資する



### 両面デジタルサイネージ

ガラス張りの壁面を利用し、外向き（館外）と内向き（館内）に同時に映像を表示できるデジタルサイネージ（天井吊りできる仕様）を設置。多摩地域に関する情報誌やオンラインメディアと連動した魅力溢れるコンテンツ（PR情報、動画など）を配信予定